

## 2019年 新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。  
本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

昨年12月に3年余りに及んだ南館リニューアル工事がようやく完成致しました。完成までの3年間、何かとご迷惑とご不自由をおかけ致しました。そのような中でも常に変わらぬご支援を皆様より頂きましたことに対して職員一同、心より御礼申し上げます。

新しい南館では、広くなった外来スペースで、何でも相談ができ、気持ちよく受診していただけるような外来を心がけます。健診センターでは新たに脳ドックも始まり健診内容をさらに充実させて参ります。入院医療では、南館は一般病棟の急性期医療に加え、新たに緩和ケア病棟21床を開設致しました。ここでは癌の痛みや苦痛の緩和と看取りを行います。

北館の回復期リハビリテーション病棟、地域包括ケア病棟は内科治療とリハビリテーションによって在宅復帰を目指します。往診センターは在宅生活を支援して地域の人々の健康を守ります。精神科は3名の常勤医が外来診療だけでなく、入院・在宅においても内科と協働した診療を行っています。透析センターは川端診療所とともに地域の透析医療を担います。家庭医療学も研修医の育成とともに当院の医療において重要な役割を果たしています。そして超高齢化社会では避けることのできない認知症、誤嚥性肺炎、摂食嚥下栄養障害、フレイルなどへの専門的対応も当院の目玉として取り組んでいます。

このような当院の外来・在宅・入院医療は医療の安全と質を高めることによつてのみ実現されるものです。日々の努力を怠らないよう心がけたいと思います。また、医療費の減免を行う無料低額診療事業、全病床差額室料の無い入院医療をこれまで通り継続して参ります。

ますます矛盾の広がる格差社会のなかで、安井病院の伝統を受け継ぎ、誰もが差別なく平等に医療・介護を受けられ、住み慣れた場所で最後まで安心して暮らし続けられるよう、貧困と格差に立ち向かい地域で信頼される医療機関となることを目指します。皆様の暖かいご指導ご鞭撻を賜りますよう何卒宜しくお願い申し上げます。

2019年元旦  
京都民医連第二中央病院院長 磯野 理